

承認番号 RD6309-001

文書番号 15085871

平成 27 年 8 月 26 日

塩ビ床材用接着剤

## アクアフローアーボンド 試験成績書

株式会社タイルメント

技術開発センター

## 1. 目的

塩ビ系床材用接着剤アクアフローアボンドの接着性能評価試験を行った。

## 2. 試験項目

- 2-1. 引張接着強さ試験 (JIS A 5536 に準拠)
- 2-2. 90 度はく離接着強さ試験 (JIS A 5536 に準拠)

## 3. 供試試験材料

### 3-1. 引張接着強さ試験

被着材: FT (複層ビニル床タイル) サイズ: 40×40mm

下地材: フレキシブル板

### 3-2. 90 度はく離接着強さ試験

被着材: FS (複層ビニル床シート) サイズ: 25×200mm

下地材: フレキシブル板

## 4. 試験方法

### 4-1. 引張接着強さ試験

#### ・試験体の作製

標準状態 (23±2℃、50±10%RH) において、下地材に規定のクシ目ゴテ (幅×高さ×ピッチ: 1.8×2.0×5.0mm、V ノッチ) を用いて接着剤を塗布し、40mm 角にカットした被着材を張り付け、1kg の重りを 5 秒間載せて圧着し、引張接着強さ試験の試験体とした。

#### ・養生条件

標準状態にて 168 時間

#### ・測定条件

テンシロン万能材料試験機 UTM-10T により、変位速度 3 mm/min にて測定を行なった。

### 4-2. 90 度はく離接着強さ試験

#### ・試験体の作製

標準状態 (23±2℃、50±10%RH) において、下地材に規定のクシ目ゴテ (幅×高さ×ピッチ: 1.8×2.0×5.0mm、V ノッチ) を用いて接着剤を塗布し 25mm 巾にカットした被着材を張り付け、ローラーにて圧着し、90 度はく離接着強さ試験の試験体とした。

#### ・養生条件

標準状態にて 168 時間

#### ・測定条件

テンシロン万能材料試験機 UTM-10T により、変位速度 200mm/min にて測定を行なった。

## 5. 試験結果

### 5-1. 引張接着強さ試験

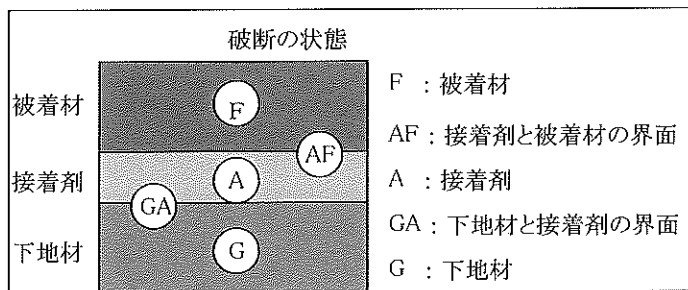
	接着強さ	破壊状態
	N/mm <sup>2</sup>	%
標準養生	0.6	AF20G80

規格値:標準養生 0.2N/mm<sup>2</sup> 以上

### 5-2. 90度はく離接着強さ試験

	接着強さ	破壊状態
	N/25mm	%
標準養生	27.3	A60GA40

規格値:標準養生 10.0N/25mm 以上



\* 接着強さは規格値以上、また、それ未満の場合でも最大面積を示す破断の位置が F 又は G であれば合格とする。

● 本試験成績書の記載内容は、当社の試験データを基に作成し、十分信頼し得るものと確信しておりますが保証値ではございません。現場施工においては施工箇所環境・使用材料・施工条件などが異なりますので、確実な施工を行なう為にも施工前に用途・条件などをご自身で十分ご検討下さい。